

佐野短期大学シラバス2014

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
株式取引演習 stock trading practice □		1年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択	特になし	
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
経営学Ⅰ・Ⅱ、ビジネス実務総論Ⅰ・Ⅱ、ファイナンシャルプランナーⅠ・Ⅱ、金融と証券Ⅰ・Ⅱ、商法、税法Ⅰ・Ⅱ				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
経営学Ⅱ、ビジネス実務総論Ⅱ、ファイナンシャルプランナーⅡ、金融と証券Ⅱ、商法、税法Ⅱ				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
國分三郎	本館 2F	木曜日 12:10~13:00		授業中に指示します
授業の概要				
株式投資に関する理論とその具体的な方法を学習する。受講生は、それぞれの投資グループに所属し、その中で他のメンバーと議論を重ねながらグループとしての株式銘柄を選定し、他の投資グループと投資パフォーマンスを競い合う。株式投資においては「投資情報」が重要であるので受講生は、授業以外でも新聞やTV、雑誌などの株式に関するニュースに触れることが必要である。受講生は、自分の財産の蓄財のために学ぶという意識を持ってほしい。				
授業の目標				
①株式投資の方法や理論を理解して、財テクが必要になった時に株式の投資ができるようにする。 ②新聞やTV、雑誌などの株式記事に関する初歩的な解説ができるようにする。				
授業の方法				
基本的に演習方式である。受講生の理解を深めるためグループディスカッションを取り入れる。また、DVDなどの映像も使用して理解を深めたい。				
学習の成果(学習成果)				
株式投資の初歩的な知識と技術を理解して、投資目的に沿った株式の銘柄を選択することができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	はじめに(シラバスの説明、講義の狙いと進め方、成績評価の説明、受講の態度の説明)			
第2回目	株式投資の基礎①(株式投資の心構え、株式投資のメリット)			
第3回目	株式投資の基礎②(証券取引所、上場企業と非上場企業、立会時間、証券会社)			
第4回目	株価は何故変動するのか(株価とは、金利と株価、為替と株価、国際経済と株価、自然現象と株価)			
第5回目	株式の売買を始めよう(株式売買の手続き、初めての銘柄選び)			
第6回目	株式情報の収集①(株式売買の情報源、新聞の株式欄)			

第7回目	株式情報の収集②(会社四季報、インターネット、株式関連雑誌) 小テスト		
第8回目	株式情報の分析(総論)		
第9回目	ファンダメンタル分析①(EPS、BPS、配当利回り、配当性向)		
第10回目	ファンダメンタル分析②(PER、ROE、PBR)		
第11回目	テクニカル分析①(株価異線、ろうそく足)		
第12回目	テクニカル分析②(出来高、移動平均線)		
第13回目	代表的な株式銘柄		
第14回目	投資グループ別、株式投資パフォーマンスの発表		
第15回目	まとめと講義の振り返り(授業の補足すべき内容の説明や受講者からの質問に答える)		
成績評価の方法と基準			
	評価の領域	割合	評価の基準
	授業参加態度	30%	最高水準(S)としては無遅刻・無欠席で、授業に集中し講義への質問を積極的に行う。
	レポート		
	調査報告書		
	小テスト	10%	最高水準(S)としては、5つの専門用語を90%の正解をもって解答する。
	試験		
	発表内容(態度含む)	60%	最高水準(S)としては、所属する投資グループの投資パフォーマンスの目標数値と実質数値の差が20%以内であること。
	その他		
教科書と参考図書			
教科書は使用しない。必要になった場合、そのつど資料を配布する。			
履修上の留意点・ルール			
欠席や遅刻、私語は慎むこと。無断欠席:5点減点。遅刻2回:5点減点。飲食物の持ち込み禁止。携帯はマナーモードにすること。受講者は、1日1回、株式に関するニュースを見ること。			